

CONTENTS

糖尿病内科のご紹介
 コンシェルジュ日記
 t-PA 治療を受けられた方
 お話をお聞きして
 新任医師のお知らせ

情報発信 ステーション

(勸)日本医療機能評価機構認定病院
 (社)日本病院会 人間ドック・
 健診施設機能評価認定病院

特定医療法人 緑社会

金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
 TEL (0867)52-1191 FAX52-1917
<http://www.kaneda-hp.com>

現在の日本は未曾有の超高齢化社会に突入しており、生活習慣病が重要な課題となっています。厚生労働省の糖尿病実態調査では、「糖尿病が強く疑われる・糖尿病の可能性が否定できない人口」は平成9年には1370万人でしたが、平成18年には1870万人と増加の一途を辿るばかりです。これほど糖尿病が猛威をふるっているのは様々な理由がありますが、やはり一番の原因は生活習慣の乱れにあると考えられています。元来、日本人は欧米人に比べるとインスリンの分泌が少ない民族とされています。戦前の日本に糖尿病の方がほとんどいなかったのは、魚中心の質素な食事をしてきたことや交通システムが発達していなかった



糖尿病内科のご紹介

内科医師 木村 友彦

4月1日から勤務しております
 内科の木村友彦です。
 どうぞ宜しくお願いいたします。
 外来では主に糖尿病外来を、
 入院では内科全般を
 担当させて頂いております。
 今回は糖尿病と糖尿病内科について
 ご紹介します。

ことなどから、適切なカロリー摂取・運動が行われており、少ないインスリンでがんばっていたためだと考えられています。しかし、食生活の欧米化で脂肪摂取量が増えたことや車社会により運動量が減ったこと、またストレス社会の影響といった複合的な要因により、私たち日本人のインスリンは相対的な作用不足の傾向にあり、このことが飛躍的な糖尿病の増加に繋がっているものと考えられます。糖尿病は肥満や過去に肥満があった方に多く、脂質異常症や高血圧症を合併しやすいのが特徴です。このような病気の一個人への集積は、心血管疾患の重大な要因であることが報告されており、メタボリックシンドロームと呼ばれていま

す。
 糖尿病内科では、これらの生活習慣病を総合的に診療することにより、心筋梗塞・脳梗塞などの合併症の発症を阻止し、健康寿命を延ばすことを目的としています。しかし、これらの生活習慣病には自覚症状が非常に乏しいという共通した特徴があり、「今は何ともないから」という理由で残念なことに治療を中断してしまったり、ついといい加減になってしまったりという方が少なくないのも事実です。私自身を治療を受ける立場に置き換えて冷静に考えてみると、現時点で痛みも何もない病気に対して、決して薬ではない食事療法・薬物療法を医師の指導により無期限に続けていくことは、非常に大変なことではないかと気づきます。実際に治療がうまく進まない方のほとんどは、病気についての知識をあまりお持ちでない場合が多く、治療について時間をかけてゆっくり説明すると、「食事療法にはそういう意味があったのですね。」と納得して頂き、翌月の外来では別人のデータではないかと思ってしまうほど改善することが度々あります。現在糖尿病内科は受診される方が多く、一人ひとりの方にゆっくり時間をおとりできないこともありますが、可能な限り時間をかけて丁寧にご説明し、治療する意義についてご理解いただきたいと思います。

コンシエルジュ日記

t-PA治療を受けられた方のお話をお聞きして

事務部 コンシエルジュ

細田 麻衣子



最近では病気に関する専門的な情報が、テレビや新聞・雑誌などで日常的に伝えられるようになりました。脳梗塞の最新治療として注目されているt-PA静注療法もそのひとつです。今回の情報発信ステーションでは、「t-PAは脳梗塞の超急性期治療で、脳に詰まった血栓（血液のかたまり）を溶かす働きがある新薬」としてご紹介いたしました。そして今回は、実際にt-PA静注療法の治療を受けた方々と、そのご家族の皆さまにお話をうかがうことができました。

Q 脳梗塞と診断されたとき、どのように思われましたか？

A1 まさか自分が脳梗塞になるとは思いませんでした。

A2 高血圧や糖尿病で治療中なので、いつかはなるかもしれないと

思っていました。心構えができていたわけではないので、やっぱり怖

かったです。

○ 脳梗塞はいつ、誰の身に起こるか分からない病気です。発症時の症状はおひとりお一人で異なります。手足が動かない・舌がもつれる・冷や汗が出る・頭が痛い・気分が悪くなる等の異常をまず感じられています。その症状から脳梗塞を疑い、ご自分で救急車を呼ばれた方、あるいはご本人は脳梗塞に結びつかず、ご家族の方が異常に気づき救急に連絡された方など、病院へ到着されるまでの状況もさまざまでした。

Q Aさんのご家族の方にうかがいました。検査の結果脳梗塞と診断され、一定の使用基準（発症後3時間以内・発症時の状態・既往歴など）が満たされていることで「t-PA静注療法」が可能であるとわかった時、どのように思われましたか？

A 脳梗塞と聞いてとても動揺しましたが、医師からt-PAという血

特定医療法人緑社会 理念

奉仕

仁愛

誠実

研鑽

調和

金田病院 理念



- 一、金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二、金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

基本方針

- 一、金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 二、金田病院は、地域の人々と、ゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三、「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四、根拠に基づいた公平な医療を提供します。
- 五、診療は、医師の説明と、患者さまの選択に基づいて行います。

栓を溶かす薬についてのお話をお聞きしました。副作用などの不安がなかったわけではありませんが、その場に専門の医師が二人いてくださったことがとても大きく、全てをお任せしようと思えました。

Q Aさんはt-PAの効果によって、発症前とほとんど変わらない生活をされているようですが、t-PA治療後のご様子と現在のお気持ちを聞かせください。

A 治療後は麻痺していた手足が動かせるようになり、話ができるようになり、時間がたつにつれてグングン回復したのでとても驚きました。t-PAはまさに魔法の薬です。

Q Bさんも後遺症はほとんどない様子ですが、現在のお気持ちを聞かせください。

A 今までと変わらない生活ができるなんて思ってもいなかったのですが、私も家族も本当に喜んでいて

Q Cさんはt-PA使用基準は満たされていたが重度の脳梗塞のため後遺症が残り、現在もリハビリを続けていらっしゃいます。ご家族のお気持ちはいかがでしょうか？

A 意識がない状態で発見したのですが、その後の対応が早かったためt-PAを受けることができました。治療については持病があったのでリスクが高いことや副作用について、また全ての方に効果があるわけではないことなどを事前にお聞きしました。現在では後遺症が残り車椅子での生活ですが、t-PAの効果によってここまで回復できたのだと思います。新聞を読む、字が書ける、会話が

できるなど、ひとつずつできることが増え、そのたびに喜びがこみ上げてきます。本人も社会復帰に向けて前向きに考えているので、家族もしっかり支えていきたいと思っています。

Q Dさんの現在のお気持ちを聞かせください。

A 私は脳梗塞の後遺症で半身麻痺が残りましたが、そのことを負に思わず自分も家族も明るく笑って生活したいと思っています。

○今回お話をうかがった皆さまに共通していたことは、脳梗塞の発症から50分前後で当院に到着されたことです。（院内発症の方もいらっしゃいます。）t-PAは発症から3時間以内に治療を開始しなければなりません。私は皆さまのお話から、3時間という限られた枠の中で最も重要なことは、発症したご本人とそのご家族が脳梗塞の症状について知識を持っておくこと、その上で一刻も早く救急車を呼び、専門の医療機関を受診することだということがよくわかりました。そして、ご本人の前向きなお気持ちと、ご家族のあたたかい支えが笑顔につながっていると感じました。とても貴重なお話をお聞きすることができました。本当にありがとうございました。

新任医師のお知らせ

外科

8月1日より
ごみ
五味慎也医師が
新任医師として
着任いたしました。

内科

7月1日より
津島瑞穂医師の異動に伴い
藤井詩子医師が
新任医師として
着任いたしました。

編集後記

今回は糖尿病と脳梗塞の特集です。どちらもテレビや雑誌で注目されている病気です。これからも当院での取り組みをいろいろな視点で捉えてご紹介していきたいと思っています。

地域医療連携室長
社会福祉士
田中聖隆
経営企画室主任
有本紀子
電算室主任
長田寛子

	診療時間	月	火	水	木	金	土 第4休診
内科	午前 9:00~12:00	① 川西 ② 海野 ③ 鎌尾	① 川西 ② 海野 ③ 杉山	① 川西 ② 1・3・5週 鎌尾 2・4週 海野 ③ 1・3・5週 木村 2・4週 藤井	① 川西 ② 鎌尾	① 川西 ② 海野 ③ 古賀 (10:30より)	① 海野(10:30まで) 木村(10:30より) ② 鎌尾(10:30まで) 藤井(10:30より) ③ 古賀
	午後 2:00~ 5:30	杉山	鎌尾 杉山 (3:30より)	越智 水島(消化器) (3:30より)	藤井	古賀	
循環器内科	午前 9:00~12:00	溝口			重歳		木村英夫
呼吸器内科	午前 9:00~12:00 午後 2:00~ 5:00						担当医 (午後・第4土曜も診療)
糖尿病内科	午前 9:00~12:00 午後 2:00~ 5:30					木村友彦	
神経内科	午後 2:00~ 5:30			深井			
腎臓内科・透析科	午前 10:00~12:00 午後 2:00~ 4:00					浪越	
泌尿器科	午後	担当医 (2:00~5:00)			木村高博 (2:30~5:30)		
外科	午前 9:00~12:00	① 松本 ② 五味	担当医	三村卓司	五味	金田	担当医
	午後 2:00~ 5:30	金田 (甲状腺)	担当医	担当医	三村卓司	松本 (乳腺)	
脳神経外科 (脳・脊髄)	午前 9:00~12:00	遠部	木下	遠部	木下	遠部	遠部
	午後 2:00~ 5:30	木下	遠部	木下	手術	木下 (脊椎・脊髄)	
整形外科	午前 9:00~12:00	坂田	坂田	/	手術	坂田	坂田 (10:30まで)
	午後	手術	手術		手術	手術	
リハビリ テーション科	午前 9:00~12:00			文野			
麻酔科 (疼痛外来)	午前 9:30~11:00		森谷				
	午後		麻酔	麻酔	麻酔		
眼科	午前 10:00~12:00 午後 2:00~ 4:00					守本	
皮膚科	午前 9:00~12:00				三村茂		
リウマチ外来	毎月1回、詳細はお問い合わせください						
救急の場合	日曜、休日を問わず24時間体制で 0867-52-1191 で受け付けます						

外来診療の受付は
こちらへどうぞ



0120-52-56-52

川崎医科大学 附属病院 川崎院 研究部	放射線科	皮膚科	リハビリ テーション科	眼科	泌尿器科	麻酔科 (疼痛外来)	救急総括	整形外科	脳神経外科	外科	内科																								
10月・11月	9月・10月	(非常勤)	(非常勤)	(非常勤)	(非常勤)	(非常勤)	医	医	医	(非常勤) 医	医																								
高島 渉	三村 亮	非常勤 医師	三村 茂	文野 喬	守本 典子	非常勤 医師	荒木 元朗	木村 高博	金澤 伴幸	森谷 実佳	木下 公久	坂田 賢一郎	木下 公昭	遠部 英昭	村上 陽昭	東田 正陽	佐藤 祐也	五味 慎也	三村 卓司	松本 道柱	金田 弘	越智 豪	重歳 尚	深井 太郎	杉山 光	古賀 喜八	溝口 博	浪越 為夫	木村 孝明	水島 英子	藤井 詩子	木村 友彦	鎌尾 高行	海野 正俊	川西 正泰

診療
担当
医